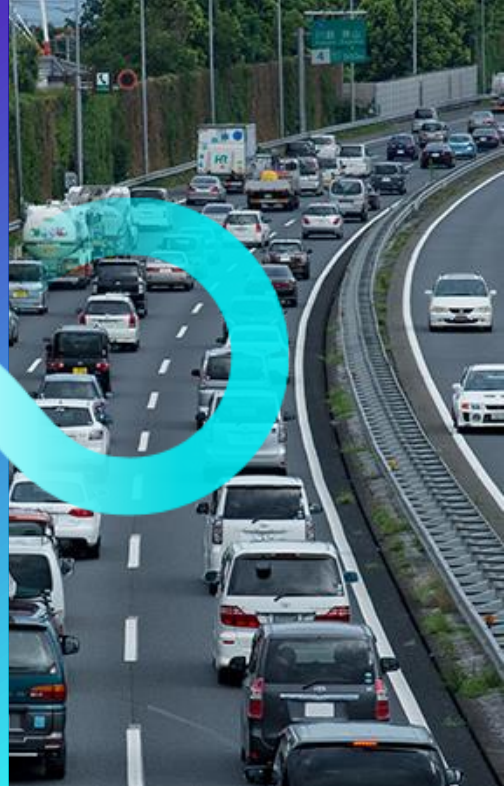


# FUJITSU Public Sector Solution Social Century Transport AI交通量計測システム

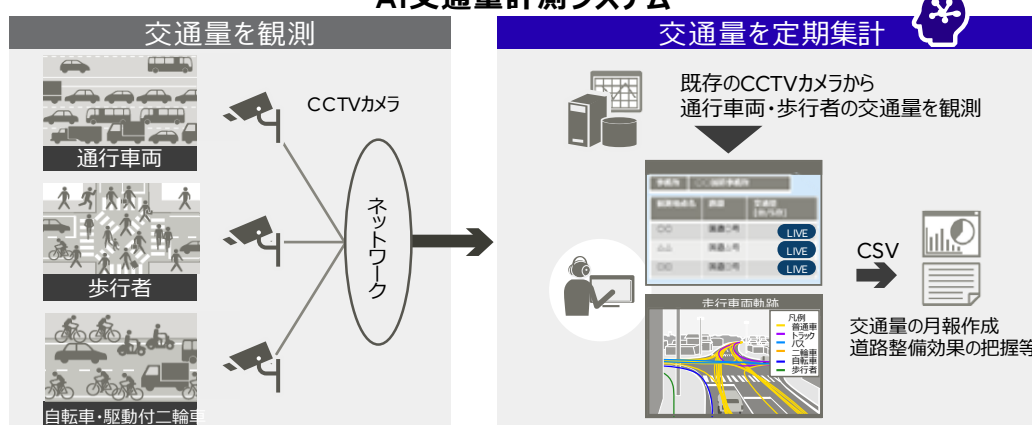


現在、道路の安全・快適な利用に向け、道路管理用に多くのカメラが設置されています。

本ソリューションは、これらの既存のカメラを活用して、AIにより道路交通量を観測し、道路利用状況や今後の道路整備計画に役立てるなど、道路管理者の業務を支援します。

また、道路交通流の可視化オプションを適用することで、事故多発箇所、渋滞箇所の調査負荷とコストの削減等が期待でき、道路施策のDX化に役立てることができます。

## AI交通量計測システム



### システムの特長

#### ■ AIによる交通量観測

AIにて画面上の通行車両(大型車、小型車に判別)や歩行者・自転車・駆動付二輪車の交通量を観測します。交通量は上下線別に集計することができ、交通量は5分間および1時間単位で集計し、CSV出力及びブラウザ表示が可能です。また、通行車両(大型車、小型車)の上下線ごとに平均速度を検出し、交通量と同様に出力、表示することも可能です。

#### ■ 既存の道路管理用カメラを用いた観測

IP映像装置機器仕様書(案)(令和2年3月)に準拠したH.264・MPEG映像を受信できるため、既設CCTVカメラを活用して交通量観測が実施できます。また、観測対象カメラに対して定間隔でカメラ状態を取得し、交通量観測位置にあるかを判定します。対象位置にない場合や計測不能な場合は、ログ状態として保存し、原因を確認することができます。

#### ■ AI検知システムと連携(オプション)

停止や混雑等を通知するAI検知システムと組合わせて道路上の交通量を観測することで、CSVデータだけでなく交通量ピーク発生前後の映像を自動保存することができます。(\*1)

また、自動保存された映像は、映像アーカイブとして、映像情報共有化システム等にて表示が可能となります。(\*2)

\*1: 自動保存は映像蓄積装置機器仕様書(案)(平成29年1月)に準拠したインターフェースを具備する映像蓄積装置が対象です。

\*2: 映像情報共有化システムでの表示は映像アーカイブ(AI-DB)が別途必要です。

# FUJITSU Public Sector Solution

## Social Century Transport

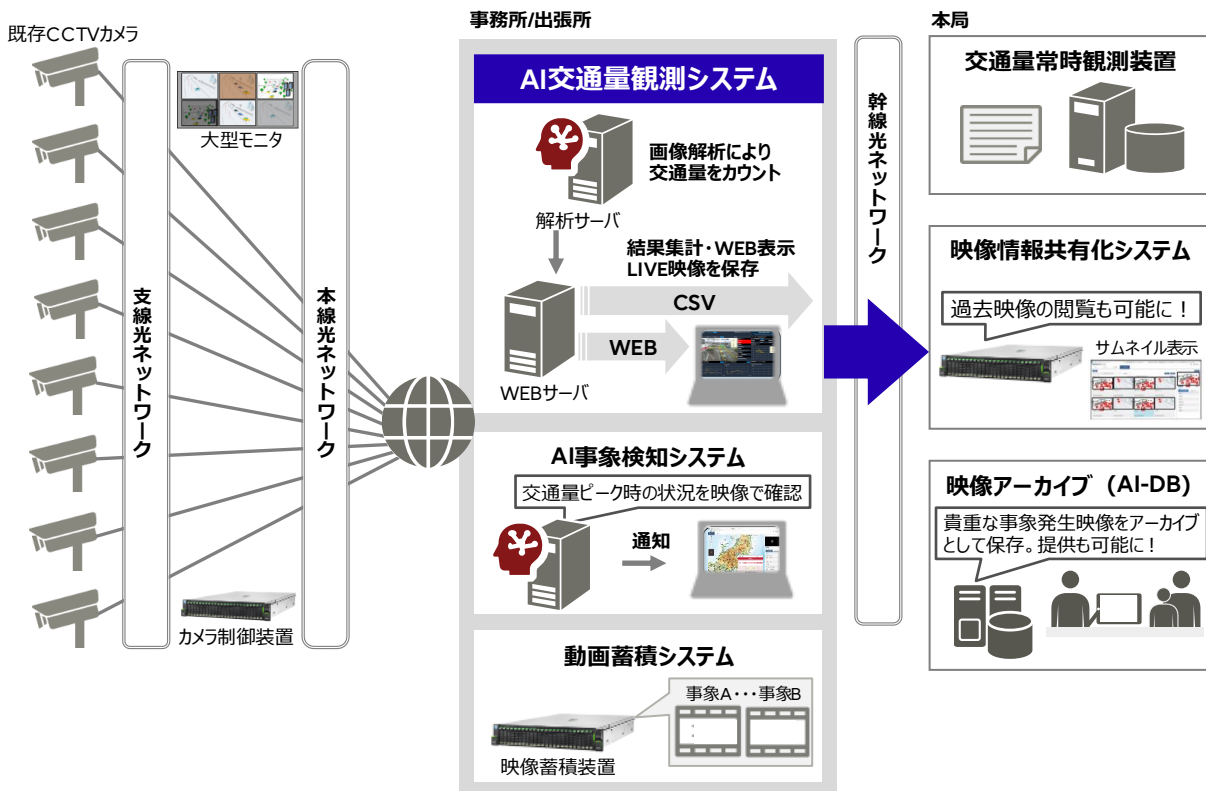
### AI交通量計測システム

#### 機能一覧

機能	内容
入力映像形式	HD : ITU-T H.264(ISO/IEC 14496-10)MP@L4以上、HP@L4以上 SD : MPEG-2(ISO/IEC 13818-2)MP@ML、ITU-T H.264(ISO/IEC 14496-10)MP@L3以上、HP@L3以上
AI観測機能	計測対象 : 大型車・小型車の車種判別・平均速度検出、歩行者・自転車・駆動付二輪車検知、走行軌跡検知 (*) 検知サイズ : 50×50ドット以上
交通量集計単位	通行車両、歩行者、自転車、駆動付二輪車 : 上下線・車線別の集計に対応
プリセット判定機能	観測対象カメラに対して定間隔でカメラ状態を取得し交通量観測位置であるかを判定
集計機能	5分間値/1時間値 (計測不能な場合はlog保存) 集計データは12ヶ月保存
出力機能	CSV出力、ブラウザ表示

注 : \*印はオプション機能。

#### システム構成



**注意** ●ご使用の際は取扱説明書 宛よお読みの上、正しくお使いください。  
水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。  
表示された正しい電源・電圧でお使いください。

●機器の改良のため、予告なしに仕様・デザイン等を変更することがあります。  
●印刷の都合により、実際の色とは、若干異なる場合があります。

#### 富士通株式会社

お問合せ先 : 富士通コンタクトライン 0120-933-200

受付時間 9:00~12:00および13:00~17:30 (土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く)

2022年9月 第2版